

授業科目名		担当講師名		対象学年	
小児看護学 I (健康レベルに応じた看護)		重 しほ子		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	(15)	2 年教室	前期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	子どもの健康問題と看護 (慢性期・急性期・周手術期・終末期の看護) 子どもの状況と看護 (入院中・外来・在宅・災害時の看護)				
到達目標	・健康問題・障害が子どもと家族に与える、心理社会的影響と反応を発達段階に応じて理解する				
事前学習	乳幼児期・学童期の成長発達について理解しておく プレパレーションについてレポートする				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	病気・障害が子どもと家族に与える影響 病気や入院に伴う子どもの反応について理解する (各発達段階の特徴やストレスと対処行動・家族の特徴とアセスメント)
2	入院中看護 役割 心理的準備 治療における支援 (意志決定・セルフケア) 外来看護事例活用・健康診査・育児相談・感染症対策・トリアージ・不安軽減
3	在宅看護 特徴事例活用 医療的ケア レスパイトケア 訪問看護などの社会資源の活用・災害時看護 避難所生活の対応 PTSD 心のケア
4	慢性期看護 特徴生活の変化 慢性特定疾患 学習支援 地域との連携 急性期の看護 疾患の特徴と治療 救命処置 意識レベル 誤飲誤嚥
5	周手術期看護 時期 計画・緊急・日帰り手術 安全安楽 アセスメント 終末期の看護 死の概念 反応 緩和ケア 死を看取る家族の反応
6	プレパレーションの目的意義の理解 説明と同意 家族の準備状態の把握
7	プレパレーションの実際 (G ワーク：検査処置を受ける子ども家族の支援)
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	小児看護学 I (症状) とあわせて 1 単位とする。